

社会医療法人 仁生会年報2022 第24号
2022(令和4)年度 (2022.4.1~2023.3.31)



日高クリニック

院長挨拶 197

概 要 198

部署責任者一覧 200

医師一覧 200

職員数一覧 200

年次報告 201

看護部 201

事務部 203

在宅部 204

診療実績・業務実績統計 207



松本 和博



令和4年度の日高クリニックの概要を報告します。

令和4年度は3年度と同じく新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応に追われた1年でした。高知県では、1月からオミクロン株による第6波が広がり、感染者は増加しました。7月からはさらに感染力が強くなったオミクロン株BA.5による爆発的な第7波が広がり、8月には患者数、死亡者数が過去最高を記録しました。追加ワクチンや経口抗ウイルス薬の効果もあり、徐々に収束傾向に向かいましたが、11月からまた第8波が押し寄せ、12月がピークを迎えています。

日高クリニックも第7波、8波のコロナ感染の影響で、職員、利用者、入所者に感染者が出ましたが、職員一同の感染予防対策で大きな広がりはありませんでした。

診療は例年通り小児科と内科一般を松本が担当しました。土曜の午後のみ隔週で北岡名誉副院長に整形外科診療をお願いしました。診療を支える外来業務は、師長の小島看護師、副師長の下村看護師、坂永看護師、井澤医事主任、野々宮事務員が一日平均50人の患者さんに対処してくれました。日高クリニック2階に併設している老人デイケア「シルバーコスモス」では、主任の森下理学療法士、竹村看護師が介護職員と一緒に一日平均19人の利用者に質の高いリハビリと介護を提供しました。日高クリニックから徒歩数分の所に日高ケアセンターと認知症対応のグループホーム「ひだかの里」、通所介護「ひまわり」があります。日高ケアセンターでは管理者の山中ケアマネ、濱田ケアマネが在宅での自立支援に向けたケアプランを作成しサービスの調整を図りました。グループホームと通所介護では施設長の小島看護師、管理者の森下主任が介護職員と一緒にほぼ満床の利用者に、住み慣れた地域の住民としての生活が維持できるような介護を提供しました。外来、デイケア、グループホーム、居宅介護支援事業所が円滑に回るように事務一般の管理を新任の松田事務主任にお願いしました。

令和5年5月8日以降はCOVID-19の感染症法上の位置づけを、それまでの2類相当から5類感染症に引き下げられることが決定されました。COVID-19も変異を繰り返すことにより、感染力は増し続けますが、一方で軽症化も進みます。感染者数が増えると多くの死者数も報告されます。集団免疫はまだ不十分であり、ポストコロナには時間がかかりそうです。



日高クリニック



待合室



第2診療室（整形外科）



検査室



事務室

概要

1. 理念・基本方針・目標

理念

利用者、家族、地域住民に対して、人権を尊重し、在宅ケアの専門職としての実践能力と質の高い医療・看護・介護サービスを提供する。

方針

- 1 患者さまの人権を守り、その人らしさを尊重した援助をし、個人情報の遵守に努める。
- 2 地域住民の疾病予防、健康増進を目的とした予防活動に努める。
- 3 職員間で個人情報の遵守に努め、情報を共有し、他事業所と連携・共働し、効果的なサービスを提供する。
- 4 地域住民のニーズに応え、個別性を重視した質の高いケアを提供する。
- 5 事故に対して、職員全員にて分析して業務改善を行う。そして自己啓発に努める。

2. 沿革

平成8年12月 「日高クリニック」開院
 平成9年4月 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」開設
 平成12年4月 居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」開設
 病後児保育「ワンパクひだか」開設
 グループホーム「あったかホームかも」開設
 平成16年2月 ヘルパーステーション「ひまわり」開設
 平成17年1月 グループホーム「あったかホームひだか」開設
 平成22年6月 通所介護「ひまわり」開設
 平成23年3月 グループホーム「あったかホームかも」下分へ移設
 平成23年6月 グループホーム「ひだかの里とんぼ」・「ひだかの里めだか」に名称変更
 平成23年8月 「ひだかの里 めだか・とんぼ」を統合し、1事業所2ユニットになる
 平成27年4月 「社会医療法人仁生会 日高クリニック」となる
 平成29年3月 認知症カフェ「あったかカフェ」開設
 令和3年3月 病後児保育「ワンパクひだか」休止
 令和4年2月 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」、居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」、グループホーム「ひだかの里」など在宅部門が細木病院在宅部へ統合

3. 附属施設

診療部門	日高クリニック
通所リハビリテーション	老人デイ・ケア「シルバーコスモス」
居宅介護支援事業所	日高ケアセンター
グループホーム	ひだかの里
共用型認知症対応型通所介護	通所介護「ひまわり」(ひだかの里内に併設)
病後児保育	ワンパクひだか
認知症カフェ	あったかカフェ



日高ケアセンター外観



処置室

4. 各施設について

1) 日高クリニック

①敷地面積、建物面積

敷地面積：777㎡ 建物面積：372㎡

②施設の内容（各階の目的、機能別）

2 F	通所リハビリテーション老人デイ・ケア「シルバーコスモス」、厨房、浴室、病後児保育室「ワンパクひだか」
1 F	診療室、処置室、検査室、エコー室、X線撮影室、理学療法室、受付、事務室、待合室

③標榜科目 小児科、内科、整形外科

④許可病床数 無床

2) その他の附属設備について

		敷地面積、建物面積	施設の内容	施設基準
老人デイ・ケア 「シルバーコスモス」		敷地面積：777㎡ 建物面積：171.5㎡	【通所リハビリテーション】 デイルーム・厨房・トイレ 浴室・リハビリテーション室	1単位 定員37名
日高ケアセンター		敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：20㎡	【居宅介護支援事業所】	介護ケアマネジメント 介護予防ケアマネジメント
ひだかの里（2ユニット）	めだか ※認知症カフェ 「あったかカフェ」	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：208.68㎡	【グループホーム】 1階：9室 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室・ロフト	定員9名
	とんぼ	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：229.06㎡	【グループホーム】 1階：2部屋 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室 2階：7部屋 洗面所・トイレ エレベーター	定員9名
	通所介護 「ひまわり」	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：208.68㎡	【グループホーム等活用型認知症対応型通所介護】 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室・ロフト	定員1ユニット当たりユニットの入居者と合わせて12名以下 営業日：月・火・水・金・土・日曜日 定休日：木曜日 サービス提供時間：午前9時から午後4時30分
ワンパクひだか （病後児保育）		隔離室 5.28㎡ 観察室・安静室 10.5㎡ 保育室 28.5㎡		1カ所 定員2名

※「通所介護ひまわり」は「めだか」の建物を使って認知症デイサービスを行っています。

※「認知症カフェ」は「めだか」の建物を使って「あったかカフェ」を行っています。

部署責任者一覧

令和5年3月31日現在

診療部	
院長	松本和博
看護部	
看護師長	小島すみ江
在宅部	
シルバーコスモス主任・理学療法士	森下将多
日高ケアセンター管理者・主任看護師	山中由美子
ひだかの里管理者	森下小百合
通所介護ひまわり管理者	
事務部	
事務主任	松田岳

医師一覧

令和5年3月31日現在

小児科・内科	松本和博
整形外科	北岡和雄

職員数一覧

令和5年3月31日現在

医師	2	介護福祉士	16
看護師	4	ヘルパー2級	6
理学療法士	2	調理員	1
介護支援専門員	4	事務員	3
介護職員初任者	1	車両班	1
社会福祉士	1	計	41



グループホーム「ひだかの里 めだか」



グループホーム「ひだかの里 とんぼ」

看護部



外 来

①概要

看護師長：小島 すみ江
構成職員：看護師 2名
合計人数 2名

②令和4年度 目的・目標

1. 感染予防・疾病予防・健康増進を目的とした活動に努める
2. 個性性を重視した安全・安心な質の高い医療・看護サービスの提供と働きやすい職場づくりに努める
3. 災害対策に対して、研修・訓練の実施など役割を認識した行動ができるように努める
4. 関係機関と連携をとりながら地域に貢献できる
5. 健全で安定した効果的な事業運営に努める

③活動内容・目標達成状況

1. 昨年度と同様に日高村役場健康福祉課と連携を取りながら、新型コロナウイルス予防接種に取り組むことができた。また、発熱外来を立ち上げて感染対策を取りながら対応した。
コロナ感染罹患者の電話での定期薬や対症薬処方に対しては、近隣薬局と連携し患者さんが不安なく治療が継続できるようにできた。
他施設・企業の健康診断には積極的に関わることができた。
2. 紹介や定期的に受診される患者さんの状態によ



り、適切なサービスが提供できるようにケアサポートセンターと連携を取り、デイケア利用など提供できた。

乳児健診や特定健診・企業健診など積極的に受け入れた。また、毎日の朝会を通じて情報共有など行い働きやすい職場づくりを行っている。

3. 災害対策においては、小規模な訓練で終わった。
4. コロナウイルス感染症に対する予防接種を中心に地域と連携できた。
5. 節電・節水や薬品・消耗品の在庫をなくすように備品管理を行った。

④次年度の課題

災害対策に対する訓練を地域の方と行う必要があると思う。



デイケアリハビリの様子



日高ケアセンター面談室

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本
部

アド
レス・
高知

福
寿
園

積
善
会

2022(令和4)年度 予防接種

月	インフル エンザ	四種 混合	二種 混合	MR	肺炎 球菌	ヒブ	小児 肺炎球菌	日本 脳炎	BCG	B型 肝炎	水痘	おた ふく	ロタ	子宮頸 がん	月間 合計
4	0	8	7	4	1	6	4	24	1	6	3	8	3	0	75
5	0	9	1	7	2	7	7	13	4	5	11	2	4	0	72
6	0	7	2	6	0	11	12	18	2	10	7	4	4	0	83
7	0	10	3	4	0	10	10	21	1	6	4	7	5	2	83
8	0	9	6	10	0	5	5	23	2	4	7	5	2	4	82
9	0	11	0	8	4	10	10	13	2	5	6	8	3	4	84
10	138	8	0	5	3	6	6	21	0	6	4	7	4	4	212
11	532	7	1	7	3	9	8	10	2	6	4	12	7	3	611
12	156	7	2	5	1	5	5	7	2	5	7	3	3	2	210
1	46	11	3	5	1	10	11	8	1	7	8	2	4	3	120
2	2	12	1	7	4	9	9	14	1	9	6	3	5	0	82
3	0	10	1	9	13	13	13	14	5	11	4	5	4	11	113
年間合計	874	109	27	77	32	101	100	186	23	80	71	66	48	33	1,827

2022(令和4)年度 看護師業務表

月	内 科	小 児 科	整 形 外 科	細 木 病 院 紹 介	他 医 院 紹 介	E K G	X - P	E コ ー	B 1	生 化	検 尿	往 診	注 射	ワ ク チ ン	インフル 予防接種	点 滴	特定健診	乳児健診	一般健診
4	584	298	28	1	19	7	27	0	73	77	32	0	5	70	0	11	0	3	2
5	486	292	19	4	17	10	19	0	74	52	28	0	8	72	0	6	0	1	1
6	489	282	27	3	15	9	23	3	120	68	48	0	6	83	0	20	6	2	0
7	543	256	25	6	13	12	16	0	103	61	36	0	10	84	0	34	2	2	2
8	515	324	21	5	8	8	19	0	76	51	17	0	1	82	0	10	0	1	1
9	505	221	15	0	15	5	20	0	86	46	21	0	7	84	0	9	2	0	2
10	633	412	27	1	18	6	26	0	104	57	34	0	3	74	138	6	4	1	1
11	753	569	20	1	17	22	36	2	191	98	51	0	2	79	532	7	5	1	1
12	631	418	28	4	15	14	27	0	107	60	23	0	2	48	156	4	5	0	1
1	573	334	19	3	8	8	25	0	103	53	26	0	9	75	46	2	2	1	0
2	546	380	17	3	7	16	22	1	110	64	24	0	14	80	42	12	3	2	2
3	615	368	20	2	16	17	37	0	161	82	44	0	9	111	0	9	5	3	6
合計	6,873	4,154	266	33	168	134	297	6	1,308	769	384	0	76	942	914	130	34	17	19

その他 日々、マイコプラズマ抗原、ストレプト、アデノ、RS、インフルエンザ、ヒトメタニューモウィルス検査など実施している。

(文責：看護師長 小島 すみ江)



総務・医事

1 概要

事務長：不在

代行：松田 岳

構成職員：事務 1 名

医療事務 2 名

合計人数 3 名



2 活動内容・目標に対する達成状況

- ・ 医事課職員 2 名体制で受付対応および診療報酬請求を実施
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種（一般・幼児～小児）について、日高村役場との日程や当日の段取りなどの調整および打ち合わせ実施
- ・ オンライン資格確認システムの導入および運用開始
- ・ 各補助金事業の申請（新型コロナウイルス関連、物価高騰対策など）
- ・ 日高村外への広報活動として、佐川町・いの町広報誌への広告掲載を継続実施
- ・ 日高クリニックホームページの定期更新
- ・ 外来無料送迎バスの運行（令和 4 年度延べ利用者 223 名※毎週月金運行）
- ・ 各施設における修繕などに関する業者発注および進捗状況の確認・現場立ち会い
- ・ 消防訓練・災害訓練の実施や、施設全体の消防設備の維持管理を実施

3 今後の課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症の 5 類移行へ向けた診療体制の整備
- ・ 電子カルテシステム導入へ向けての事前調査やシステム内容の検討
- ・ 外来および介護事業所の増収、患者・利用者増加、利益確保対策
- ・ 水道光熱費や各施設の設備更新・修繕費などの経費削減への取り組み

4 まとめ

令和 4 年度の総患者数は前年度より下回る結果となった。上半期はとくに小児科患者が減少。RS ウイルス感染症やヘルパンギーナなどの小児疾患が流行しなかったことが主な要因。また、新型コロナウイルス感染第 7 波が日高村内でも発生し受け入れ医療機関でない当院は、疑い患者や問い合わせ者を検査など実施可能な他院へ案内したことも減少要因である。下半期は上気道炎などのコロナウイルス感染でない季節性疾患による受診は例年通りであったことや、新型コロナウイルス感染第 8 波の収まりにあわせて内科、小児科ともに患者数が多少回復したものの、上半期の減少を補うことはできなかった。

次年度は当院もコロナ感染受け入れ可能機関になることにより、診察受け入れの間口は広がる。しかしながら通常診察も同時進行するため、いかに円滑な診療体制がとれるかが重要となり、その体制整備に注力する。そのほか、各ワクチンの予防接種や一般健康診断などの利用者の積極的な獲得に励み、保険予防活動実績の向上に努める。

（文責：事務主任 松田 岳）

在宅部



日高ケアセンター

①概要

管理者：山中 由美子

構成職員：主任介護支援専門員 1名
介護支援専門員 1名
合計人数 2名



②活動内容・目標に対する達成状況

- 安全で質の高い看護・介護サービスの提供と働きやすい職場づくり。
接遇マナーに留意しご利用者・職員間でも思いやりのある対応に心掛けた。
月1回の連絡会、WEB研修の参加や地域ケア会議・事例検討会への事例提供も行いマネジメント能力の向上・自己研鑽に努めた。
- 健全で安定した事業所の運営をする。
給付管理に関して、10月から特定事業所加算の算定を行った。新規に関しては地域包括や医療連携室、近隣住民から直接の依頼もあり件数は現状維持できた。大規模災害発生時感染症発生時のBCP策定においては、本院の策定委員会に参加し職員間での周知を行い内容の見直しも行った。隣接する施設と合同で災害訓練に参加し、防災意識を高めることができた。
- 安心して生活できる地域づくりに向けた関わりをする。
地域百歳体操の場に出向き介護保険制度活用方法

や相談窓口について説明するなど地域貢献活動を行った。小地域ネットワーク会議に参加し、民生委員や地域見守り隊ボランティアとの交流を図り、顔の見える関係づくりに取り組むことができた。自己決定・意志決定を尊重し関わることを心掛けた。

③今後の課題

独居や認知症高齢者、複雑化した家族への関わりなど、地域共生社会に向けたご利用者一人ひとりの個別ニーズに応じたマネジメントを行う必要がある。地域づくりに貢献できるようにネットワークを広げ、他機関や地域住民とつながり、顔の見える関係性を築き信頼される事業所を目指す。

(文責：主任看護師 山中 由美子)



老人デイ・ケア シルバーコスモス

①概要

主任理学療法士 森下 将多

構成職員：看護師 2名
理学療法士 2名
介護福祉士 1名
2級ヘルパー 2名
介護職員初任者 1名
調理員 1名
車両班 1名
合計人数 10名



②活動内容・目標達成状況

- 安全で信頼される質の高い看護・介護サービスの提供と働きやすい職場づくり。
・安心・安全なサービスを提供するため、利用者の

状態に応じて、ケアの方法や健康観察、運動、レクリエーションをできるだけ、根拠を持って対応するように心掛けた。

- ・言葉遣いには注意するという意識をもち、接遇の向上も図ってきた。時に、口調や言い方などの言葉が乱れることもあり引き続き注意していききたい。
 - ・ミーティングは定期的には月に1回、それ以外にも随時実施し、情報共有や業務改善を図ってきた。
- 2) 健全で安定した事業所の運営をする。
- ・平均利用者数は18.7人／日で目標値の18.5人／日を上回ることができた。
 - ・災害訓練や感染症訓練は細木病院での研修も含め定期的の実施することができた。
 - ・介護保険ソフトのワイズマン導入にあたり、システムの変更は不備なく実施できた。
- 3) 安心して生活できる地域づくりに向けた関わりをする。
- ・地域ケア会議に参加することや電話連絡なども行い、地域関連機関との情報共有や連携を図るよう努めた。

③課題

- 1) 接遇面の向上、サービスの質の確保をしていく必要がある。
- 2) ワイズマンシステムの操作方法など、職員全体で共有していく項目がある。
- 3) 安定した人員確保に向けて調整をしていく必要がある。

④まとめ

利用者数に関しては、利用頻度の多い方が継続して利用できている傾向にあり、前年度よりも増加がみられた。細木病院在宅部との統合にあたって、必要事項の統一などは徐々に実施できているが、今後も変更・改善を図っていく。デイケアでの感染症対策も引き続き徹底し、安全で安定した事業所運営を行っていききたい。

(文責：シルバーコスモス主任・理学療法士

森下 将多)



グループホーム ひだかの里 めだか・とんぼ

①概要

施設長：小島 すみ江
 管理者：森下 小百合
 構成職員：介護支援専門員 1名
 計画作成担当者 1名
 社会福祉士 1名
 介護福祉士 15名
 介護従事者 4名
 合計人数 22名
 医療連携：小島 すみ江、下村 恵美
 (日祭日夜間輪番制)

②活動内容・目標に対する達成状況

活動内容

コロナ感染症予防のために、全般的に交流自粛傾向であった。その中でも、感染に注意し、なじみの小村神社大祭への参加などの、在宅当時の生活継続を心掛けた。体操やレクリエーションを毎日実施することで、気分転換・体力維持・認知機能維持の支援をした。交流継続の支援として、入所さまが書かれた暑中見舞いを送らせていただくと、家族から感激の手紙や電話をいただき入所者さんも喜ばれていた。また、細木病院在宅部の力を借りて、オムライスイベント参加や、防災出前講座をすることで、地域貢献ができた。防災出前講座には、地域住民・警察・日高村・事業所・民生委員・自治会・家族・職員などあわせて30名の参加があり、大反響であった。



ひだかの里 めだか



ひだかの里 とんぼ

目標に対する達成状況

- ①安全で信頼される質の高い介護サービスを提供する。

接遇やACPなどについて職員みんなが積極的な研修参加を心掛け、そこで得た知識、経験を活かし入所者さんに安全かつ快適に生活をしていただけるよう努めるとともに、終末については本人・家族の希望をくみ取り、希望に沿った専門職としての支援をしている。以降も継続していく。

②事業所の安定した運営をする。

在宅部のBCP委員会活動に参加することで、災害時や感染時の対応を学び、実践に活かせる。今後も継続することで、持続可能な事業所を目指していく。また、入所者さんは高齢の方が多く、退所者も出たが1週間程度の短い間隔での入所ができています。

③地域づくりに貢献する。

コロナウイルス予防のために、認知症カフェは外部者の受け入れを制限して行った。運営推進会議では、地域の集会所を貸していただくなど、工夫して講義やワーク会を実施し好評を得た。また、10月の運営推進会議は在宅部の防災出前講座と土佐警察署防災講義をしていただき、地域の方と防災について一緒に考える良い機会となり、地

域貢献ができた。

③今後の課題

コロナ感染症クラスターに1ユニットになった。感染症対策が不十分であった。

感染症予防はもちろんのこと、感染症になった場合の対策も、施設全体で徹底する。

母体病院の感染対策看護師の指示を受け、感染時は拡大しない対策をとっていく。

災害時には利用者・家族・地域の方々・職員が協力し対応ができるために、訓練を繰り返すことと、地域の協力体制を構築するための関係性を目指していく。また、災害や感染時にも事業を継続していくための、計画・研修・訓練の実施を母体病院と共同し順次行う。

④まとめ

利用者様が安心して暮らせる支援を常に念頭においていた支援を継続する。事業継続計画を順次実施していく、災害・感染に備えていく。地域密着型の事業所として、地域での役割を果たしていく。

(文責：管理者 森下 小百合)



通所介護 ひまわり

①概要

管理者：森下小百合

構成職員：担当者 1名

(ひだかの里めだか職員兼務)

合計人数 1名

利用定員：3名

開所日：月・火・水・金・土・日

②活動内容

グループホーム共用型ならでの特性を活かし、閉じこもりや他のデイサービスでは受け入れが難しい利用者さまも、柔軟な対応で利用につなげている。個性を重視したケアの提供をしている。

③今後の課題

地域の認知症の方が在宅生活の継続できるように、地域密着型の事業所の役割として、日高村担当者やケアマネジャーと協力し、本人さまの不安や家族の不満や負担を軽減できるように相談支援をしていく。

④まとめ

認知症になっても住み慣れた日高村で、その人らしい生活が継続できるよう今後も支援していく。

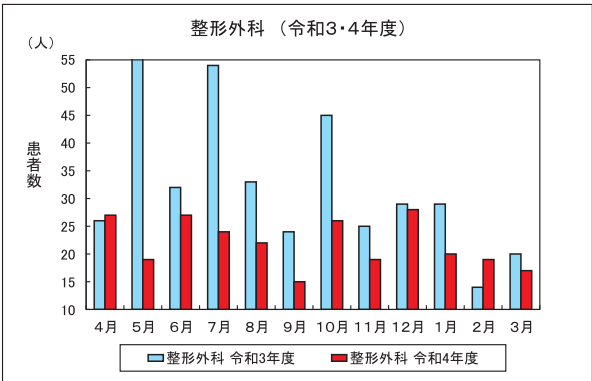
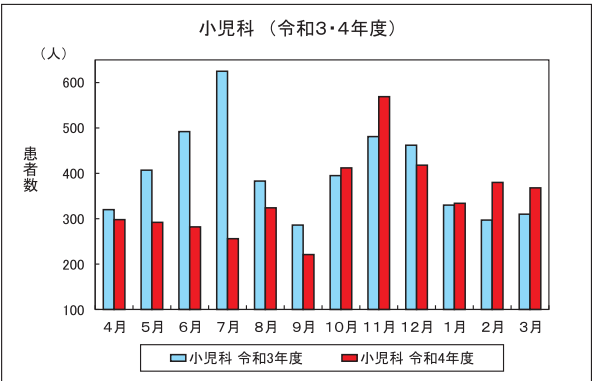
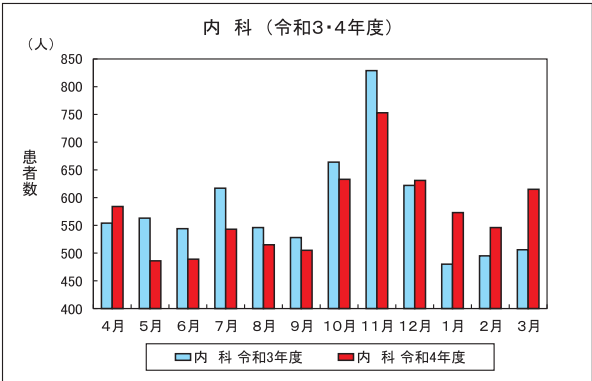
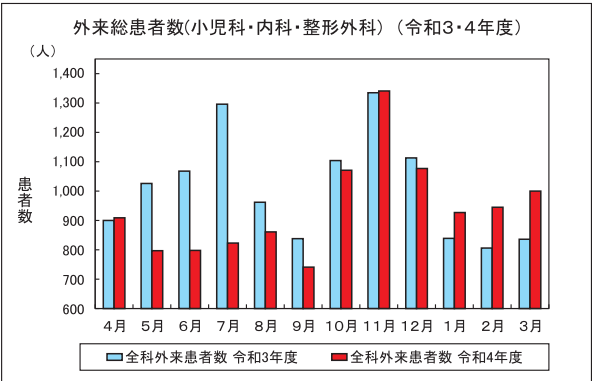
(文責：管理者 森下 小百合)

日高クリニック

■ 外来 業務実績

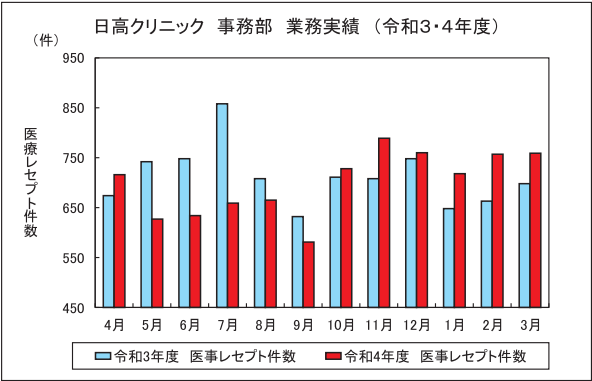
病棟形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
外 来	小児科(人) (1日平均)	298 (14.2)	292 (20.4)	282 (23.4)	256 (12.2)	324 (15.4)	221 (11.1)	412 (19.6)	569 (28.5)	418 (19.9)	334 (17.6)	380 (21.1)	368 (17.5)	346.2 (18.4)
	内科(人) (1日平均)	584 (27.8)	486 (28.2)	489 (25.9)	543 (25.9)	515 (24.5)	505 (25.3)	633 (30.1)	753 (38.2)	631 (30.0)	573 (30.2)	546 (30.3)	615 (29.3)	572.8 (28.8)
	整形外科(人) (1日平均)	27 (9.0)	19 (9.5)	27 (13.5)	24 (8.0)	22 (11.0)	15 (7.5)	26 (8.7)	19 (9.5)	28 (14.0)	20 (10.0)	19 (9.5)	17 (8.5)	20.0 (9.9)
	公費予防接種(人) (全種※インフル含まず)	73	72	78	77	76	73	69	68	52	67	79	100	73.7
	全科外来患者数(人) (1日平均)	909 (45.3)	797 (41.6)	798 (40.1)	823 (41.2)	861 (43.4)	741 (39.3)	1,071 (53.1)	1,341 (68.6)	1,077 (52.4)	927 (50.4)	945 (54.5)	1,000 (50.2)	940.8 (48.3)

※整形外科は土曜日午前中のみ診察のため土曜日回数による1日平均。全科外来患者数は営業日数による1日平均。



■ 事務部 業務実績

施設形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
医事課	医事レセプト件数(件)	716	627	634	659	665	581	728	789	760	718	757	759	699.4



細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本
部

アドレ
ス・高知

福寿園

積善会

■ 居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」 業務実績

施設形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
居宅介護支援事業所	介護給付利用者数(人)	56	55	59	53	55	55	55	54	55	54	53	55	54.9
	予防給付利用者数(人)	16	15	17	17	17	15	16	16	15	14	17	17	16.0
	合計	72	70	76	70	72	70	71	70	70	68	70	72	70.9

■ 通所リハビリテーション 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」 業務実績

施設形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
通所リハビリテーション	利用者数(人)	42	41	41	41	43	41	39	40	41	38	39	46	41.0
	延べ利用者数(人)	415	372	403	381	404	343	359	371	363	345	347	416	376.6

■ グループホーム「ひだかの里」 業務実績

施設形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
グループホーム(2ユニット)	入居者数(人)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18.0
	延べ入居日数(日)	540	558	531	545	558	540	542	527	558	522	494	555	539.2

■ 通所介護「ひまわり」 業務実績

施設形態	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
通所介護	利用者数(人)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
	延べ利用者数(人)	53	54	53	56	48	58	65	62	52	53	52	61	55.6

